

JARL理事候補者選挙の開票立ち会い報告

JA1NSJ 深野 邦良

〒168-0063 東京都杉並区和泉 2-26-38 ja1nsj@jarl.com

4月21日のJARLの開票立ち会い人を選挙候補者である草野編集長から依頼され、初めてJARL選挙に関わりました。結果は、「厳正に」、「肅々と」、「公正に」実施されたことを立ち会い人として宣言致します。

第一印象、人数が多すぎる

会場は東京都町田市の三井倉庫内で執り行われ、部屋からの出入りはセキュリティーカードがないとできません。外部の侵入対策は万全でした。

JARLの選挙管理委員会委員が5名、事務局職員が4名、立ち会い人が2名、作業実行会社アグレックスの社員が23名と、最初に感じたのは人が多過ぎるでした。

開票作業

作業の流れは、段ボール開梱→投票用紙開封(機械)→投票用紙取り出し→目視選別(白票、ボールペン、いたずら書き、異物混入、異封筒等は選管へ)→OMRとカードスキャナー併用(弾かれた票は手入力へ)→段ボール箱単位で保存となっています。

機械化されているように見えますが、23名が無口の下を向いて黙々と作業している様は正に人海戦術そのものです。

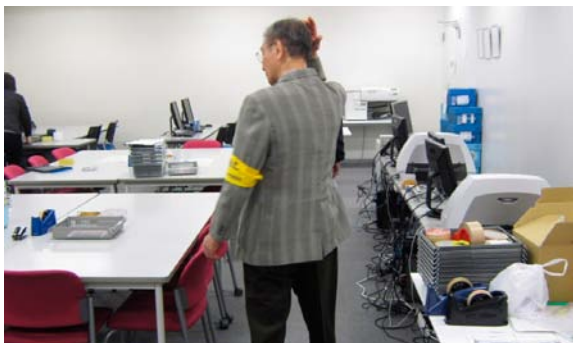
Am11:00 私はここらあたりで緊張がほぐれたのか睡魔がきました。トイレ、屈伸、コーヒーで気を取り直します。あらJARLの方も2名睡魔が・・・。

作業は順調に進み11箱あった段ボール箱もラストとなりました。選管から、今後の見通しとしてPm5:30作業終了、JARL選管会議を経てPm6:00結果の告示の予定と選管長のJM1WJV 梶田さんから伝達があり、やれやれです。

票が足りない！

トイレ休憩から帰ってきてビックリ。1票適合しないとのこと。ここからPm7:45の原因説明までが長かったこと！

作業会社の船頭さんが2人から3人に増え、挙げ句はJARLまでもがここに1票不明票がある等と混乱状態になりました。結果的に、作業会社の船頭かしらが原因を究明し、入力ミスで処置してめでたく完了(この1票では結果変更ないのだけどここは厳正に対応)。



室内の様子。右奥 OMR 機、右側スキャナー機



投票用紙を入れた段ボール箱。

開票結果

<p>全国選出の理事候補者</p> <p>有効票数 21,621 票 投票率 35.2%</p> <p>JG1KTC 高尾 義則 3,838 当選</p> <p>JA1ELY 草野 利一 3,358 当選</p> <p>JF6MIT 宮川 香枝湖子 2,494 当選</p> <p>JA5MG 稲毛 章 2,354 当選</p> <p>JA0OZZ 伊部 雅一 2,124 当選</p> <p>JA3ATJ 坂井 紀久男 1,930</p> <p>JH1XUP 前田 吉実 1,923</p> <p>JA8ATG 原 恒夫 1,566</p> <p>JA1LVB 伏見 美幸 890</p> <p>JA8LJF 佐々木 淳一 621</p> <p>JA1BSN 田中 達男 523</p>	<p>四国地方本部区域の理事候補者</p> <p>有効票数 960 票 投票率 48.2%</p> <p>JA5SUD 森田 耕司 518 当選</p> <p>JA5GSG 大村 育子 442</p>
	<p>九州地方本部区域の理事候補者</p> <p>有効票数 2,021 票 投票率 44.2%</p> <p>JA6BXA 河喜多 勝 1,069 当選</p> <p>JA6GRA 田中 正喜 952</p>
<p>関東地方本部区域の理事候補者</p> <p>有効票数 7,401 票 投票率 32.7%</p> <p>JA1NVF 吉沼 勝美 3,838 当選</p> <p>JH1UBU 根本 紀正 3,563</p>	<p>北海道地方本部区域の理事候補者</p> <p>有効票数 1,442 票 投票率 46%</p> <p>JA8FXG 阿部 弘行 809 当選</p> <p>JA8CDT 加藤 喜一 633</p>
<p>中国地方本部区域の理事候補者</p> <p>有効票数 1,306 票 投票率 34.4%</p> <p>JR4OZR 久木田 春美 791 当選</p> <p>JA4BXE 神保 勝利 515</p>	<p>北陸地方本部区域の理事候補者</p> <p>有効票数 648 票 投票率 39.4%</p> <p>JA9BOH 前川 公男 500 当選</p> <p>JA9BHE 柴田 雄司 148</p>

JARL 理事選挙、開票結果。太字は象さんグループの候補者。

開票結果

表1の通りです。地方本部区域は全て象さんグループ候補者が当選しました。今まで殆ど無投票だったので、一気に投票行動につながったのではないのでしょうか。投票率は何と四国の48%をトップに40%台がずらりと並びました。



旧式鉛筆読み取り式 OMR 機。



スキャナー読み取り機。

選挙方法および開票についての私見

今回の開票立ち会いを経験したことをもとに会員として考えるところを述べます。

●基本的に、複数人連記投票から単独記入マーク方式になったのですから、投票の仕方も併せて考え直す必要があります。

具体的に提案しますと、企業の総会での出欠、議案の賛否などで行われている1枚のハガキで目隠しシールを貼る方式に変えるだけで封書代等が削減できます。

また(株)アグレックスの方にお聞きしたところ選挙作業の仕事はJARLさんだけですと言ってました。今さら鉛筆マーク方式でやっている所はどこかありますかねえ。暇になった信託銀行あたりに見積もりで総会月を外せば半額で出来るのでは・・・。

●投票用紙に記載する立候補者順ですが、現在はABCの3通りのパターンで展開しています。公平にという理由の様ですが、これを届け出で順と決めてしまえば変換作業、印刷が楽(安く)になるはずですが。

●OMR機が諸悪の根源と見えました。旧型のエンピツ(炭素反応式)だけしか読み込めず、ちょっとした汚れ、折れもダメで、結局弾かれた票は人の手作業に回るので(ここで今回の入力ミスが生じた)。新型の光学スキャナー機でのトラブルは皆無でした(ボールペン、折れ、汚れに対応)。

●白票と無効票の取り扱いは作業会社から選管のみのルートかと思ったら、事務局へ行くルートの2本だった様です。これは事務局には票が行かないようにすべきです。最後の不明解決作業で、事務局からここに白票が一票などと選管に逆流していました。解決策として投票用紙裏面に「白票選管」、「無効選管」と印を押すべきで、現在は色別付箋(直ぐに剥がれる)では不正の原因になりえます。この1票騒ぎで選管のJM1WJU 梶田さんの隣の方が的確に厳正な判断をされていました。

●無線界特有の入力ミスはJR4OZR久木田さんで起きました。作業者はパートの奥さんで、「JA4」と来れば次は数字のゼロと読んでしまいます。よって、ヨン、ゼロ、ゼット、アールとなってしまったのです。事前の注意と手入力コーナーに紙で表示しておけば容易に防げることで(年金が消えてしまう原因と同じ)。

●適正人員としては、選管3名(5)、事務局員3名(4)、立ち会い人2名(2)を安全圏と考えます。()内は現行人数。

●時間外? 今回想定外の出来事があり20:00時近くまで延長作業となってしまいましたが、費用発生はどうなっているのでしょうか? 作業会社(株)アグレックスとはパッケージの請負契約なのだろうか? JARL職員は残業になるのかパッケージなのか気になります。貴重な会費が使われているのですから。

●最後に、今回の選挙は「象さんグループ」の大躍進となり、JARL理事会は大きく変化するものと思いますが、掲げたマニフェストが実行されないとその反動は大変なものになります。皆が注目しております。確実に無理なく一歩ずつ前進してください。しかし我々も性急に何でも変わることを求めないことでしよう。

最後に

それにしても朝6:30起床、9:00現着、9:30開始、17:30終了予定がトラブルで19:45終了。いやー長かった! エコノミーでドイツまで行った位疲れた～。

ちなみに私はJARLと関わったのは今回で3度目です。QSLカード転送アルバイト(高校生)、ALL JAコンテンツ1位の受賞(梶井さんから)、そして今回です。



開票作業風景。



左手前事務局職員4名、奥は選管委員5名。